

理工学域 地球社会基盤学類 地球惑星科学コース

【授与する学位】学士（理学）

大学（大学院）の目的
金沢大学は、教育、研究及び社会貢献に対する国民の要請にこたえるため、総合大学として教育研究活動等を行い、学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。

学類（研究科）の教育研究上の目的
理工学域は、基礎科学と工学の先進的な研究を通して理工学の高度な専門知識を育み、高い倫理性と豊かな教養を備え、課題探求能力と国際感覚をもって自然環境と調和のとれた科学と技術の発展を目指し、人類の幸福のため世界で活躍する個性輝く人材を養成することを目的とする。 地球社会基盤学類は、地球環境科学及び土木都市工学に関わる俯瞰的で幅広い基礎知識と特化した専門知識を身に付けた、高度な学理探求を目指す研究者、地球環境の課題解決や人々の豊かな生活と持続的発展を志向する安全で安心な社会の基盤づくりを担う技術者、ならびに次世代の人材育成を担う教育者を養成することを目的とする。

ディプロマ・ポリシー（DP）	カリキュラム・ポリシー（CP）	アドミッション・ポリシー（AP）
【卒業認定・学位授与に関する基本的考え方（前文）】	【教育課程編成に関する基本的考え方】	【入学受入れに関する基本的考え方（前文）】
地球をとりまく自然現象に関する理解の深化に果敢に挑む冒険心、人間社会と自然とのより良い共生のあり方を模索し続ける探求心、魅力ある都市・環境づくりへのチャレンジ精神をもち、持てる知識全てを総合的に活かして、地球、環境、防災、都市、社会基盤に関する調査・研究・開発ができる人材を育成する。各コースのディプロマ・ポリシーで掲げた目標を通じて、学類の人材養成目標に到達した者に学士（理学）の学位を授与する。	地球社会基盤学類では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、全学共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実験、実習を適切に組み合わせた授業科目を開講する。教育課程については、カリキュラム・ツリーやナンバリングを用いてその体系的な構造を明示する。	地球社会基盤学類では、共通教育としての金沢大学<グローバル>スタンダード（KUGS）に基づき、グローバル社会をリードする人材育成のため、われわれ人類の生存基盤となる地球、日常生活基盤となる社会及びそれらを取り巻く環境を対象に、理学と工学の両面から柔軟に思考できる能力を身につけるため、地球惑星科学・環境科学や環境工学、土木工学、防災工学、都市工学に関わる俯瞰的で幅広い基礎知識と特化した専門知識に基づく総合的・実践的な教育・研究を行い、地域からグローバルまでさまざまな局面において、社会をリードする研究者・技術者・教育者を養成します。科学的探究心に富み、これらの分野の専門知識を生かして活躍したいと考えている学修意欲のある人の入学を期待します。本学類には、地球惑星科学、土木防災、環境都市の3つのコースがあり、各コースへの配属は2年後期開始前に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。
【学生が身に付けるべき資質・能力】	【教育内容・教育方法（教育課程実施）に関する基本的考え方】	【求める人材】
（知識・理解）地球惑星科学に関する知識を修得し、それらを地球環境等の様々な時間・空間スケールの課題に対して活用することができる。 （技能）地球惑星科学に関連する実験技術や調査法、情報処理能力を修得し、様々な課題に対して応用することができる。 （関心・意欲・態度）設定された課題に対し、種々の知識や技術を活用して課題を解決する能力及び継続的に課題に取り組む能力を身につける。 （表現）論理的な思考力を涵養し、論理的な記述、プレゼンテーション、ディスカッション、ならびにコミュニケーションができる能力を修得する。	1. 教育内容 地球惑星科学コースでは、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、「地球や惑星を構成する物質やその循環」、「地球環境の変遷と生命の歴史」、「地震や火山などの地球・惑星内部や表層のダイナミクス」の理解に必要な基礎知識を2年次第3・第4クォーターに、より高度な内容や地球惑星科学の特徴である現場での情報収集、解析手法を3年次に、学生の能動的学修を積極的に促すためのアクティブラーニングの手法を交えながら、修得する。具体的には、「地球や惑星を構成する物質やその循環」に関しては、2年次第3・第4クォーターに、基礎地球惑星物質学、基礎岩石学、鉱物・結晶学演習、岩石学実験等、3年次に鉱物学、岩石学、地球学野外調査法、地球物質分析実験を配置する。「地球環境の変遷と生命の歴史」に関しては、2年次第3・第4クォーターに、基礎環境変動学、地球惑星データ解析、3年次に、層位・古生物学、地球環境学、環境地球化学、試料解析実験等を配置する。この二つのテーマの共通項である地球化学に関する内容として、3年次に同位体地球学、地球化学実験等を配置する。「地震や火山などの地球・惑星内部や表層のダイナミクス」に関しては2年次第3・第4クォーターに、基礎地球惑星物理学、3年次に地球惑星物理学、数理地球惑星科学、地球物理実験、応用地球物理実験等を配置する。さらに、これらの知識や実験手法を実際に活用・応用するものとして4年次に課題研究（卒業論文）及び文献演習を配置する。 2. 教育方法 （1）講義科目では、専門知識を学修し、その理解を問う試験・レポートを課す。 （2）実験科目及び演習科目では、調査・実験手法の理解度、観察力、理論的な考察力及びプレゼンテーション能力、ディスカッション能力を養う。 （3）課題研究及び文献演習では主任指導教員1名を置き、研究及び英文論文読解の指導、助言を適宜行う。	・自然現象に対する科学的探究心のある人 ・人文社会科学にも関心のある理系人間 ・実験・野外調査や、ものづくり・創意工夫に興味のある人 ・地域・我が国・世界の自然災害や防災・減災に関心のある人 ・地球惑星科学、環境科学及び社会基盤工学の専門家や研究者になりたい人 ・地球・環境・都市の課題に対し、科学技術を通じた社会貢献がしたい人 ・都市や社会を支えるための科学技術に関心がある人
【学修成果の評価】	【選抜の基本方針】	
共通教育科目に加え、地球社会基盤に関する専門科目、地球惑星科学に関する専門科目の履修状況、成績ならびに課題研究の評価を総合して、学修成果の達成度を評価する。なお、課題研究の評価は論文審査及び口述試験により実施する。	■一般選抜 基礎学力に加え、理系基礎科目である数学、理科及び英語の学力を重視します。また、理系科目だけではなく国語や地歴歴史・公民を含む幅広い能力も評価します。 ■KUGS特別入試 （総合型選抜） 大学入学共通テストと成績証明書（調査書）により基礎学力を評価し、口述試験により、地球惑星科学若しくは社会基盤工学の勉学意欲及び資質を評価します。 （学校推薦型選抜） 出身学校長が責任を持って推薦する優秀な人物について、口述試験により、地球惑星科学に対する志向の明確さと勉学意欲及び資質を評価します。 ■超然特別入試（A-lympiad選抜） 「日本数学 A-lympiad」における受賞及び調査書を参考にして、理数系分野及び英語の高いレベルの学力、理工学分野の勉学意欲及び資質等を口述試験（プレゼンテーションを含む）によって総合的に評価します。 ■帰国生徒選抜 理系基礎科目である数学、理科及び英語の学力を重視します。 ■国際バカロレア入試 地球惑星科学及び社会基盤工学の基礎となる数学、物理及び化学の学力を重視し、成績評価証明書等により評価します。また、口述試験により、地球惑星科学若しくは社会基盤工学の勉学意欲及び資質を評価します。 ■私費外国人留学生入試 日本語の聴解・読解力に加え、理系基礎科目である数学、物理、化学及び英語の学力を重視するとともに、口述試験により、学類での授業を理解するための基礎知識、日本語によるコミュニケーション能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。	
	【入学までに身に付けて欲しい教科・科目等】	
	高等学校で履修した科目（大学入学共通テストで課している科目を含む）について、しっかりと身につけておく必要があります。特に、理系科目である数学、理科、また英語については、応用能力を含め、しっかりと身につけておく必要があります。また、総合的な学力を身につけるために、理系のみならず、人文社会系科目の学修も勧めます。	